

東京湾ではじめて採集された コブクロモク (褐藻綱)

高橋 昭 善 *

A new record of *Sargassum crispifolium* Yamada
(Phaeophyceae : Sargassaceae) in the Tokyo Bay

TAKAHASHI Akiyoshi*

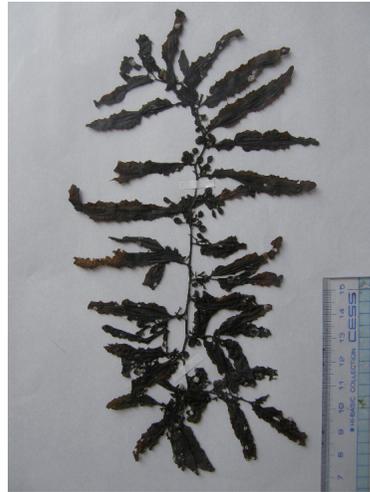
キーワード：東京湾， 分布， 褐藻綱， ホンダワラ科，
コブクロモク

Key words: Tokyo Bay, distribution, Phaeophyceae,
Sargassaceae, *Sargassum crispifolium*

コブクロモク *Sargassum crispifolium* Yamada (褐藻綱
ホンダワラ科) の分布域は本州太平洋岸中部，四国，九
州 (吉田，1998) とされる。これまで東京湾内における
本種の採集記録はなかったが，2009年8月4日に三浦
半島東部横須賀市走水海岸で採集したので報告する。

今回採集したホンダワラ属海藻は，1) 主枝は円柱
状で細く，互生的に側枝が出る。2) 葉は中肋のある笹
葉状で長さ3～5 cm，幅は最大で0.8 cm，先端に丸み
があり，緑辺には細かい鋸歯がある。3) 気胞は小型の
球形あるいは楕円形で冠葉はなく，気胞の柄は気胞よ
り短いといった特徴があった。気胞の柄の長さは気胞
の直径の1～2倍あり，葉は幅狭く中肋は不明である
マメタワラとは明らかに異なる。以上のことから，こ
の採集個体をコブクロモクと同定した (第1図)。

神奈川県内におけるこれまでのコブクロモクの採集
記録は，相模 (Yamada, 1931 ; 岡村，1936) ，材木座，
由比ガ浜，大磯 (宮代コレクション植物標本目録作成
編集委員会，2001) ，三浦，小田原，真鶴 (松浦，2004)
がある。また近年は，材木座，由比ガ浜，稲村ヶ崎，
七里ヶ浜で採集されている (高橋・大森，2009) 。これ
らの記録はいずれも相模湾沿岸であり，東京湾におけ
る採集記録は無い (森田，1998 ; 高橋ほか，2005 ; Ohba
et al., 1988) 。そのため走水海岸に打ち上げられた今回の
記録は東京湾内における初記録となる。なお，採集さ
れた個体には付着器がないことから，東京湾外から運



第1図 コブクロモク *Sargassum crispifolium*. 横須賀市
走水海岸 . 2009年8月4日 .

ばれた可能性も考えられる。

種の同定には東京海洋大学の田中次郎教授にご教示
いただいた。謹んでお礼申し上げます。

引用文献

- 松浦正郎 2004. 相模湾の海藻 . 215 ページ，夢工房 .
宮代コレクション植物標本目録作成編集委員会 2001.
宮代コレクション植物標本目録 . 206 ページ，横浜市
こども植物園 .
森田哲生 1998. 観音崎たたら浜における確認海藻 . 水産
植物研究会会報 : 128-133.
Ohba H., Konno T., Ioriya T., Notoya M. and Miura A. 1988.
Marine algae from Banda, Tateyama, Chiba Prefecture. *J.
Tokyo Univ. Fish.*, **75** (2) : 405-413.
岡村金太郎 1936. 日本海藻誌 . 962 ページ，内田老鶴圃 .
高橋昭善・長谷川和清・田中次郎 2005. 横浜市の海藻
および海草 . 横浜の川と海の生物，第10報 : 121-136.
横浜市環境保全局 .
高橋昭善・大森雄治 2009. 三浦半島海藻図鑑 . 208 ペー
ジ，横須賀市自然・人文博物館 .
Yamada Y. 1931. Notes on some Japanese algae II . *J. Fac.
Sci. Hokkaido Univ.* ser. V, 1: 5-76.
吉田忠生 1998. 新日本海藻誌 . 日本産海藻類総覧 . 1222
ページ，内田老鶴圃 .

* 横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 横須賀市深田台 95 番地
原稿受付 2009年11月30日 横須賀市博物館業績 633 号